

会 員 各 位

中 部 経 済 同 友 会

教育を考え行動する委員会

委員 長 九 鬼 綾 子

副委員 長 久 保 統 義

副委員 長 佐 久 真 一

副委員 長 橋 本 涉

中部経済同友会・愛知大学共催 公開講座のご案内

当委員会では平成16年より「中国」に関する研究に実績のある愛知大学との共催で、「中国公開講座」を開催しており、皆様のご高評を得ております。

今回は、愛知大学名誉教授の高橋五郎氏をお招きし、下記の通り講演会を開催いたします。世界の食糧の4分の1を生産する中国の食糧自給率が70パーセント台に落ち込み、世界の食糧市場を揺さぶっています。さらには、気候危機、新型コロナ、深刻な国際紛争が食糧危機に拍車をかけ、深刻さを増しています。高橋様からは、世界の食糧安定のカギを握る中国の自給率低下はなぜ起きているのか、また、その対策や日本への影響等について、大変興味深いお話が伺えるものと存じます。是非とも多数の皆様のご来場をいただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 10月12日(水) 15:00~17:00

2. 場 所 愛知大学名古屋キャンパス グローバルコンベンションホール
(名古屋市中村区平池町4-60-6)

3. 講 師 ^{たか} ^{ほし} ^ご ^{ろう}
高 橋 五 郎 氏
愛知大学名誉教授

愛知大学国際中国学研究センター (ICCS) フェロー (元所長)

愛知大学国際問題研究所名誉研究員 元中国経済経営学会会長 (現名誉会員)

(プロフィール) 専門は中国農村経済学、中国・アジア・日本の食料問題。

中国とアジアの農業と食品問題・経済状況を幅広く研究、両国の農民・消費者の実践的な利益を考えるための活動にも参加。中国の大学主催の国際シンポジウムには年数回、招待され、講演・発言等をしている。中国には、農村経済調査・都市住民食生活状況調査、シンポジウム参加・討論等のため、毎年、数回は訪問。

(ご高著)

『農民も土も水も悲惨な中国農業』(朝日新書、2009)、『新型世界食料危機—中国と日本の戦略』(論創社、2011)、『中国多国籍企業の海外経営』(共著)(日本評論社、2013)、『日中食品汚染』(文春新書、2014)、『中国社会の基層変化と日中関係の変容』(代表執筆/共著)(日本評論社、2014)、『デジタル食品の恐怖』(新潮新書、2016年)、『新次元の日中関係』(編著)(日本評論社、2017)、『中国土地私有化論の研究』(日本評論社、2021)、『中国が世界を牛耳る100の分野 日本はどう対応すべきか』(光文社新書、2022) 他多数。

4. 演 題 「世界を揺るがす中国の食糧問題 —自給率低下は何故止まらないのか—」

5. 定 員 75名 (先着順/ご出席は会員ご本人様限りとさせていただきます。)

※公開講座全体の定員は150名です。一般の方も参加されますこと、
予めご了承ください。

6. 申込方法 ご出席の場合は 9月28日(水)までに会員専用ページからご登録をお願いいたします。開催1週間前を目途にご登録のE-mailアドレスに受講票をお送りいたします。恐れ入りますが、当日は受講票をプリントアウトしてお持ちいただき「中部経済同友会」の受付にてご提示いただきますよう、お願い申し上げます。

7. その他 専用駐車場のご用意はございませんので、当日は、なるべく公共交通機関でお越しいただきますようお願い申し上げます。

以 上